

“ちょっと” 政策提案①

もうちょっとこうすれば

子育てしやすくなる?

松江市子育てフリーペーパー「ねえみちよって」の新企画

「“ちょっと”政策提案」



“ちょっと” 政策提案②

「市HPの保育所の場所の“見える化”」

「市HPで保育所の空き状況は分かるようになったけど、**保育所の場所**を知りたい!」

現在

待機児童・入所不承諾者の状況

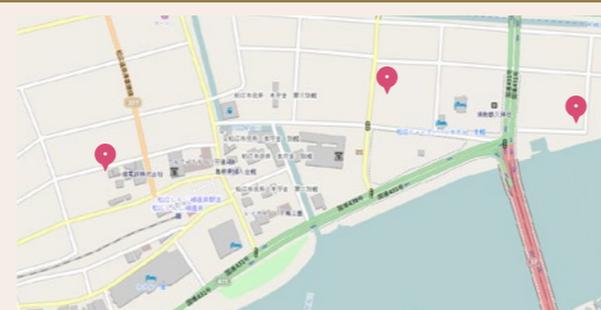
入所不承諾者の状況(平成28年6月1日時点)

入所不承諾者の状況(平成28年6月1日時点)							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
入所不承諾者	27	55	29	10	13	2	136
橋北	3	13	13	6	9	0	44
橋南	13	28	7	4	2	0	54
八雲	0	1	1	0	1	0	3
玉藻	2	0	1	0	0	0	3

空き状況は分かるようになったが、保育園の場所が分からない。
住所を見ただけではなかなか**場所がイメージできる人は少ない**。
多くの人が自分の住居地や職場周辺の保育所を第5希望まで書く。
新興住宅団地など、子育て世代が多く住む(例)川津やその他で、**希望が重なりやすい**
結果、**競争率が上昇**、第5希望まで落ちてしまう(涙)

※上記画像は松江市のウェブサイトから引用

保育園の「場所」を見える化!!



場所が分かる事によって、**自分の居住地や職場の近く**にいくつ**保育園などがあるか分かる**。またポイントは、居住地や職場だけでなく、「職場の通り道」なども保育園の選定候補になる

希望の偏りが解消される

結果、**競争率が平準化し、バランス良く希望が分散され**、
希望の入所に入りやすくなるのではないか?(仮説)

※上記地図、及びポイントはあくまで一例です。

ちよつと政策提案

現在

子育て支援は幅が広い。

- ・支援サークル・子育て支援団体
- ・就労キャリアアップ支援
- ・子どもの健康問題・ひとり親支援
- ・保育園幼稚園など入所問題 などなど。

これが一括で相談しにくい状況が生まれている。

状況① 子育て課は、**現在の就労支援などの状況は分からない**。

状況② 就労支援などはマザーズハローワークなどがあるが、**市の健康福祉部と連携も取れていない**。

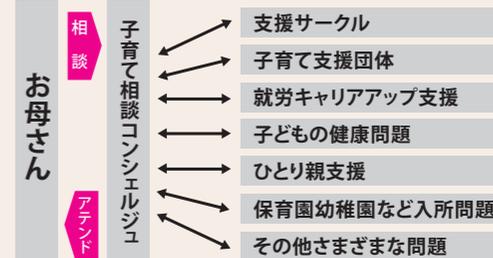
状況③ 子育て支援サークルは市民活動の範囲でなかなか、**一元的に情報や状況が管理しきれていない**。

ちよつと政策提案

「子育て相談コンシェルジュ」

「保育園状況・仕事・キャリアアップなど**一元的に相談**できるコンシェルジュ」

いろいろな相談を一元化する!!



解決① それぞれの専門分野のジャンルの見識知識は浅くても**窓口を一本化する事によって、総合的にお母さん方の現状を聞き、適切な対策がとれる**。

解決② さまざまな窓口などが一本化できる事で、**お母さん方の負担軽減**。

解決③ 一元的に対応するという事は一元的に状況や情報が連動して分かり、**行政も正確なニーズ調査が可能に**。